様式 C-7-2

自己評価報告書

平成２１年５月１９日現在

研究種目：基盤研究（B）
研究期間：2006～2009 年
課題番号：１８３３０１１０
研究課題名（和文）　中国内漢族・モンゴル族・朝鮮族の言語文化変容に関する社会言語学的研究

研究課題名（英文）　A Sociolinguistic Study of Acculturation among Han, Mongolian and Koreans in the People’s Republic of China

研究代表者　李　守(LEE Su)
昭和女子大学・人間文化学部・准教授
研究者番号：８０２７６６１７

研究分野：社会科学
科研費の分科・細目：社会学・社会学
キーワード：言語学・社会学・中国語・外国語

１．研究計画の概要
市場経済化と高度成長が進む中国において、その少数民族政策及びその実施状況がどのように変化しているのか。雇用制度の改革が民族語教育にどのような変化をもたらしているのか。また、経済的グローバリゼーションにより，隣接する同一民族国家のモンゴル国のモンゴル語、そして韓国・北朝鮮の朝鮮語が、中国領内のモンゴル語と朝鮮語に与えている影響を記述する計画である。これらの諸要因が当該地域の少数民族における言語意識に及ぼした影響、そしてそれらの言語に実際に生じている変化を記述し、変化の過程を明らかにする。

２．研究の進捗状況
中国では、漢語（いわゆる中国語）の習得が社会的上昇の契機である。高度経済成長が進行中の社会で伝統文化が等閑視されるのは、かつて日本や韓国などが経験したことであり、ひとたび失われてしまえば、それを復元するのは容易なことではない。日本や韓国のような比較的等質的な社会における伝統の喪失とは比較にならぬほど、中国の市場経済化による民族文化の衰退は徹底的である。もとより、言語や宗教をはじめとする民族文化は時の流れともに変容をこうむるものであり、それを強制的な同化とみるか、自然な同化とみるかは、観点によって異なりうるが、漢語の普及は着実に少数民族を「漢化」している。
費孝通が理論化した「中華民族」なる概念は、かつて米国でとなえられた「人種のるつぼ」、ソ連邦でとなえられた「ソビエト人」と同様、国家統合の手段として提唱されているようである。米国でもソ連でも国家統合ののイデオロギーとしては破綻したが、中国では社会主義にかわる国家統合の象徴がいよいよ必要とされていることを、モンゴル族、朝鮮族における教育機関をフィールドワークする過程で、確認しえた。市場経済化が諸民族の矛盾を糊塗する唯一の手段とみなされる一方、その実現は多難であるとの認識に至っている。

３．現在までの達成度
おおむね順調に進展している。毎年、調査地を訪問してフィールドワークにつとめた結果である。

４．今後の研究の推進方策
2006 年度から開始した本研究をしめくくるべく、大小の研究大会において過去３年の成果を発表することを計画している。日本言語政策学会 11 回大会，ならびに東京外国語大学アジア・アフリカ研究所にて発表を予定している。本年度下半期から報告書作成の準備にはいることを前提に，夏季休暇中の８月下旬から９月にかけて，延辺朝鮮族自治区および内モンゴル自治区で補足の調査をおこなう予定である。

５．　代表的な研究成果
（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計３件）
①フフバートル、少数民族語から見た中国の「国家語」名称―「国家通用語」名としての「普通話」の可能性―、学苑、

820 号、59－72、2009、有
②李　守、漢字の国のハングル―中華人民共和国・延辺朝鮮族自治州における言語条例をめぐって―、学苑、811 号、44－53、2008、有
③李　守、文字の政治学 ―昭和女子大学図書館所蔵『朝鮮語文』について―、学苑、797 号、52－60、2007、有

〔学会発表〕(計４件)
①李　守、朝鮮族の‘bilingualism’からみた中国の‘multilingualism’、東京外国語大学 A・A 言語文化研究所「多言語状況の比較研究」第 3 回研究会、2009 年 2 月 14 日、東京外国語大学
②フフバートル、新疆におけるモンゴル人の文字問題について、「トド文字３６０周年」国際シンポジウム、2008 年 9 月 13 日、モンゴル国ホブド大学
③フフバートル、中国語におけるモンゴル文字の民族問題―中国の文字改革との関連から―、Second International Conference “Past and Present of Mongolic Peoples”、2007 年 8 月 28 日、モンゴル国ウランバートル
④李　守、中国朝鮮族における言語規範―綴字法を中心に―、日本言語政策学会、2007 年 6 月 17 日、麗澤大学

〔図書〕(計１件)
①フフバートル、モンゴル研究所編、近現代内モンゴル東部の変容（アジア地域文化学叢書)、雄山閣、346－371 頁、2007